

象 成

大宮北小学校だより

令和5年度 9月号 文責 校長 平野 宗

明治6年に本校の前身として開校された「象成学舎」の名にちなみ、学校だよりの題字を「象成」（しょうせい）としました。

保護者の皆様には、夏休み中のお子様のご指導大変ありがとうございました。また、暑さ厳しい中、個人面談や奉仕作業にご協力いただきありがとうございました。



＜奉仕活動の様子＞

皆様のお力添えのおかげで、子どもたちはきれいに整備された環境の中で、元気に2学期をスタートすることができました。

2学期には、スポーツフェスティバルや宿泊学習、遠足等、子どもたちの成長につながる活動を予定しております。また、日々の学習や生活を通して大きく成長できるよう努めてまいります。

いじめ防止に向けて～2学期の重点的な取組～

8/9（水）に、市内全小中学校の児童生徒や高校生などが参加する“あったか栃木”いじめ防止子どもフォーラムが、オンラインで開催されました。

本校からは、6年生児童2名が参加し、いじめ防止についてグループ協議を行いました。参加した児童の感想（一部抜粋）を紹介します。

学んだことは二つあります。一つ目は、自分とちがう見た目でも同じ一人の人間ということです。二つ目は、言葉が通じなくても行動やコミュニケーションを大切にすることです。

いじめというのは、自分が人より少しちがうだけで起きてしまうことを知りました。ちがいがあつて周りの人が認めてあげたら、いじめはなくなると思いました。



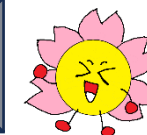
また、教職員の研修として、1学期に行ったいじめアンケートの結果をもとに、学校や学年の傾向から、2学期からのいじめ防止の対応策について話し合い、以下のような取組を進めることにしました。

- ◇ 道徳や学級活動の時間を活用し、相手の気持ちを考える活動を実施する。
- ◇ ふわふわ言葉・ちくちく言葉のように、気持ちと言葉の関係などを指導する。
- ◇ 子どもの様子をよく観察し、変化を見逃さず相談しやすい関係づくりをする。
- ◇ 子ども同士の日常的な関わりを通して、自尊心を育む。

ご家庭でも、お子様の変化に気づいたり、相談があったりしたときは、遠慮なく学校にお知らせください。



元気いっぱい 夢いっぱい 仲良しいっぱいの大宮北小



とちぎ未来アシストネットボランティア大活躍！！

夏休み中に、ボランティアの皆様が、給食配膳の時に使う白衣の修繕をしてくださいました。

また、2学期に5・6年生が家庭科で使うミシンが、きちんと動くか動作確認をしてくださいました。

今後、ミシンを使う活動の時には、とちぎ未来アシストネットの地域コーディネーターさんを通して、ボランティアさんの協力をお願いする予定です。興味のある方は、学校までご連絡ください。



特色ある教育活動の取組～NIE教育の実践～



本校では、3年生以上の学年で、月1回KODOMO新聞を購読し、記事の内容を読み取る力や表現する力、社会とつながる意欲を育てるためにNIE教育に取り組んでいます。

7月は、朝の学習の時間に新聞を読み、自分が気になった記事を選びました。そして、気になった理由をワークシートに書く活動を実施しました。

毎月14日あたりに実施しますので、ご家庭でも話題にしてください。



教職員の学び合い ～ 夏休み中の取組 ～

夏休み中には、2学期からの教育活動の充実のために、様々な研修や環境整備を行いました。

- ・ 校内の備品点検、教材や資料の整理
- ・ 学力調査結果分析、授業改善の協議
- ・ アクションカードを活用した緊急時対応
- ・ ICT活用（メタモジ活用、プログラミング学習）



また、東陽ブロックの小中一貫教育合同研修会も実施しました。5校の先生たちが集まって、学習や児童生徒指導、食と健康などについて協議しました。



本校児童の学力の状況について

4月に行われた国や県の学力調査の結果について、本校児童（4～6年生）の傾向をお知らせいたします。

今回の調査では、4・5年生は、国語、算数、理科を実施しました。6年生は国語と算数を実施しました。

国語では、基本的な漢字の読み書きで練習の成果が見られましたが、文字数や段落構成などの条件に合わせて記述する問題では課題が見られました。

算数では、計算や表・グラフの見方などの知識・技能で、反復練習の成果が見られましたが、式の意味を説明する問題では課題が見られました。

理科では、学習した用語をよく覚えることができていましたが、実験の結果をもとに考えを説明する問題で課題が見られました。

また、学習状況を把握するための質問紙調査の結果からは、調査対象児童の多くが、「学校のきまりを守っている。」「人と話すことは楽しい。」「家の人は、自分がほめてもらいたいことをほめてくれる。」と感じていることがわかりました。

一方、「平日1日あたり、スマホ等で通話やメール、インターネットをしている時間（ゲームの時間は除く）」に、2時間以上と回答した児童が、県と比較して多いことは課題と捉えています。

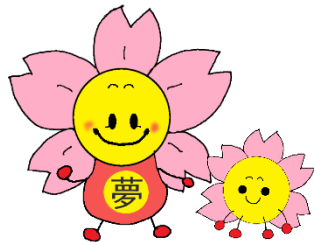
また、この質問項目では、下表のように県全体の学力調査の平均正答率との関係が示されました。

3教科の平均正答率とスマホ等の利用時間との関係（正答率ポイント）			
	2時間以上と回答	2時間未満と回答	正答率の差
4年（県全体）	53.2	66.0	12.8
5年（県全体）	49.2	62.2	10.8

この分析では、家で2時間以上通話やメール、インターネットをしている児童と、2時間未満（持っていない含む）では、正答率に10ポイント以上の差が生じています。

学校では、この状況について、子どもたちが家庭で過ごす時間の中で、学習や家族の団らん、睡眠時間等に影響が出ていないか心配しています。

さらに、別の質問項目では、ゲームをしている時間についても調査していますが、本校児童は毎年、県の平均よりゲームを長い時間している傾向も見られることから、家庭での時間の使い方について、家庭と連携して指導していきたいと思います。



<時間の使い方、大切にしてほしいこと>

- ◇ 家庭学習の時間は、学年×10分を目安に。
- ◇ 夕食をきちんと食べ、家族と話す時間を大切に。
- ◇ 睡眠時間は、8～9時間確保する。

時間の使い方について、ご家庭でも、お子様と一緒に話し合ってください。

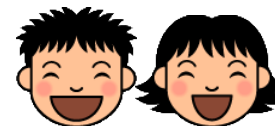


努力と栄光を讃える



7月に校長室で、1学期に学習や運動において活躍し、入賞や入選を果たした子どもたちの表彰を行いました。

- ◇ 下都賀都市「歯と口の健康週間」
 - よい歯の児童生徒 6年
 - ポスターの部 優良賞 2年
 - 入選 3年 4年 5年
 - 作文の部 入選 3年 5年
 - 標語の部 入選 5年
- ◇ 第24回栃木市春季学童フットベースボール大会 準優勝
- ◇ 第11回栃木市民陸上大会 6年女子100m 第3位 6年
4年男子100m 第6位 4年
- ◇ 第27回下都賀ジュニア陸上競技大会
 - 4×100mリレー 第1位 6年
 - 市の部 6年女子100m 第2位 6年
 - 男子1000m 第1位 6年
 - 第2位 6年
- ◇ 第59回全日本書初め大展開会
 - 公募の部 特選 5年
- ◇ 第43回栃木市民空手道選手権大会
 - 組手 小3・4男子 準優勝 4年
- ◇ 第51回野木町ソフトテニス選手権大会
 - 小学校低学年の部 優勝 3年
- ◇ 全国道場少年剣道選手権大会栃木県大会
第40回 小学生女子の部 優勝 6年
- ◇ チアリーディングベストインプレッション賞 5年
- ◇ 2023AJG大会
 - 個人総合4位 跳び箱3位 鉄棒4位 マット8位 2年
- ◇ 珠算技能検定合格 3級 5年



伝えたい思い
たくさん話そう

東陽中学校区の小中学校では、毎月14日を「トーヨーの日」として、家庭内のコミュニケーションをより深めていくための「家ぞく団らんの日」としています。